

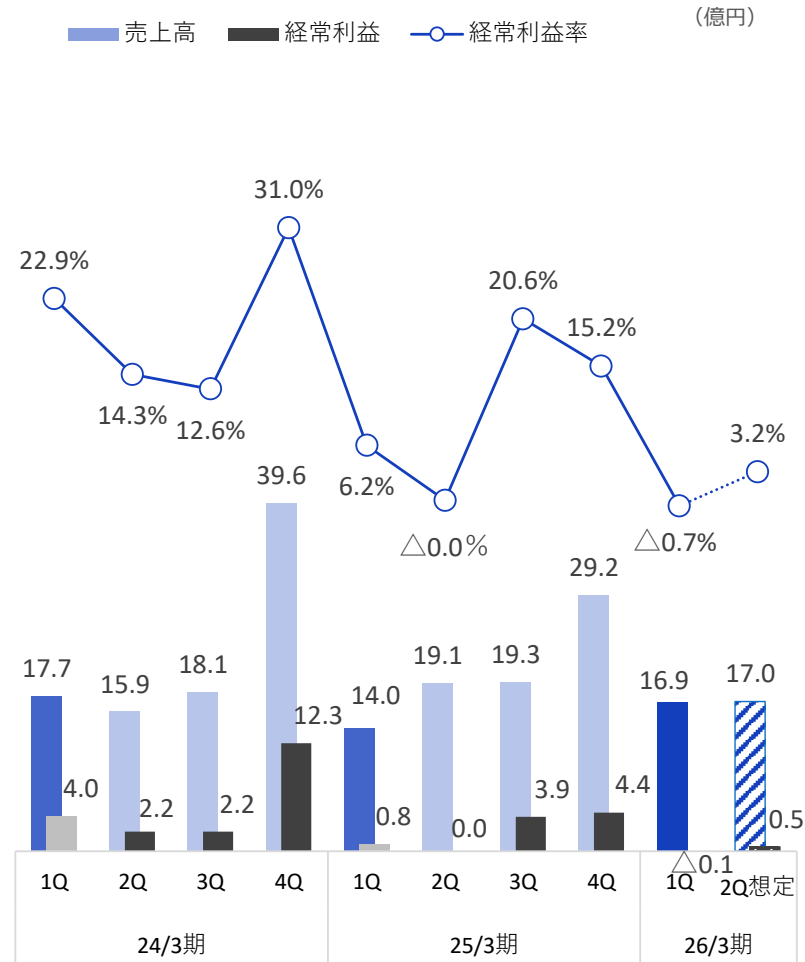
2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年8月8日

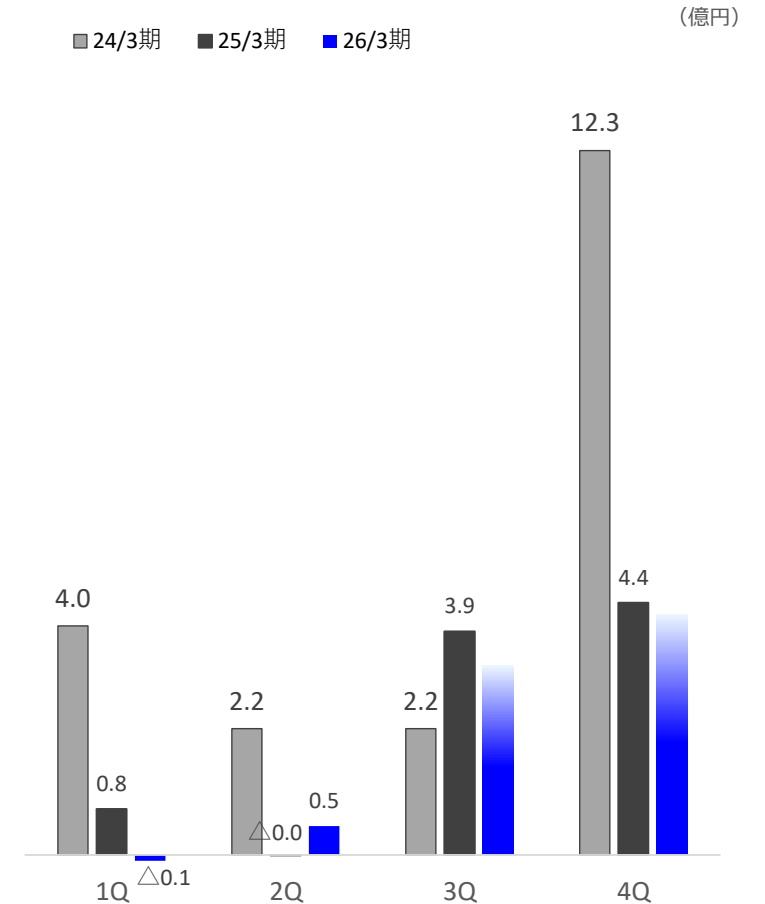


- 26/3期1Qは前年比増収減益。売上高は医薬領域の出荷集中で2割増となるものの、一時的な製造工数増などが重石となり減益。例年通りのスロースタートに
- 26/3期2Qは売上高17.0億円、経常利益0.5億円を想定。経常利益率は1Q比で上昇となり、採算面でのボトムは脱してくる見通し
- 26/3期通期の業績見通しは現状据置き。厳しいスタートとなるも、足の長い案件増効果もあり、下期偏重型の展開を想定

四半期推移



四半期別経常利益想定



1. 2026年3月期第1四半期 決算概要

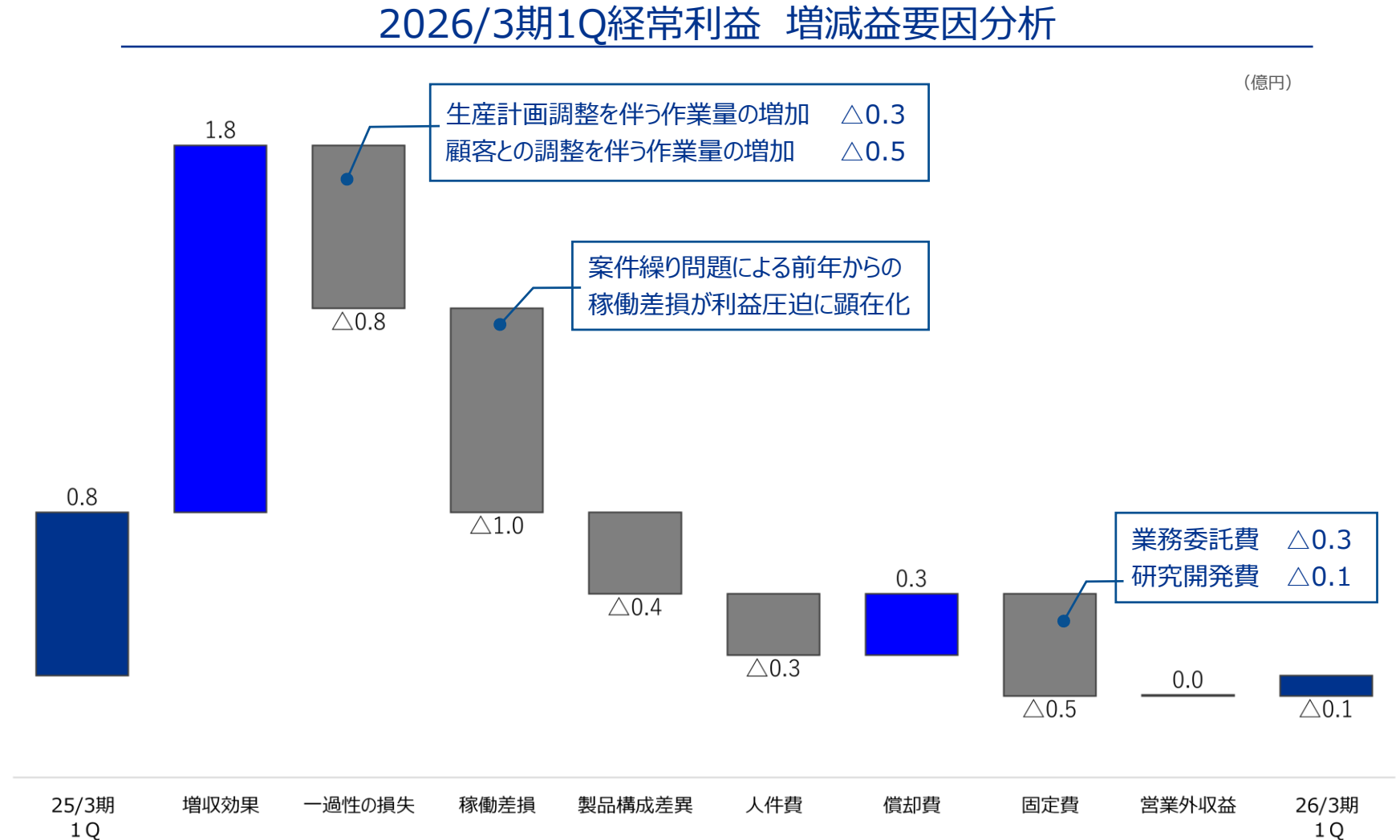
- 1Q業績は、前期比20%増収、経常赤字を計上。例年低調となる1Qだが、赤字計上は22/3期以来
- 売上面では機材とバイオの両分野は横ばい推移。一方、医薬分野は出荷集中の特殊要因もあり、大幅増収
- 損益面では、出荷集中となった医薬品を主因に採算が低下。生産計画調整などの一過性の効率低下が発生し、コスト負担が押し掛かる展開に
- ただし、そのような状況は既に解消済み。採算の悪化状況は今後、徐々に緩和される見通し

(百万円)	2024/3期	2025/3期		2026/3期		2026/3期 進捗率	1Q前期比較	
		1Q	通期	1Q	通期見通し		差異	変化率
売上高	9,154	1,405	8,178	1,694	8,600	19.7%	+288	+20.6%
機能材料	2,714	798	3,002	755	2,950	25.6%	△42	△5.4%
医薬	4,609	395	3,508	730	3,700	19.7%	+334	+84.7%
バイオ	1,829	211	1,667	208	1,950	10.7%	△3	△1.4%
営業利益	2,081	85	771	△ 9	780	—	△94	△110.9%
経常利益	2,094	87	929	△ 11	800	—	△98	△113.3%
経常利益率	22.9%	6.2%	11.4%	△ 0.7%	9.3%	—	△6.9pp	—
当期純利益	1,493	56	737	△ 11	584	—	△67	△120.1%
調整後EBITDA*	2,867	283	1,761	182	1,777	10.3%	△100	△35.5%
調整後EBITDAマージン	31.3%	20.1%	21.5%	10.8%	20.7%	—	△9.4pp	—

* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 研究助成金 - 長期前受収益取崩し

(百万円)	2024/3期				2025/3期				2026/3期
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1Q	2 Q	3Q	4Q	1 Q
売上高	1,779	1,593	1,812	3,969	1,405	1,916	1,932	2,924	1,694
機能材料	610	576	723	804	798	769	665	768	755
医薬	923	673	535	2,476	395	703	927	1,482	730
バイオ	244	343	553	688	211	442	339	673	208
営業利益	404	223	222	1,230	85	△8	246	448	△9
経常利益	408	227	228	1,230	87	△0	398	445	△11
経常利益率	22.9%	14.3%	12.6%	31.0%	6.2%	△0.0%	20.6%	15.2%	△0.7%
当期純利益	286	154	154	897	56	△1	283	398	△11
調整後EBITDA	590	419	410	1,447	283	200	611	665	182
調整後EBITDAマージン	33.2%	26.4%	22.6%	36.5%	20.1%	10.5%	31.7%	22.8%	10.8%

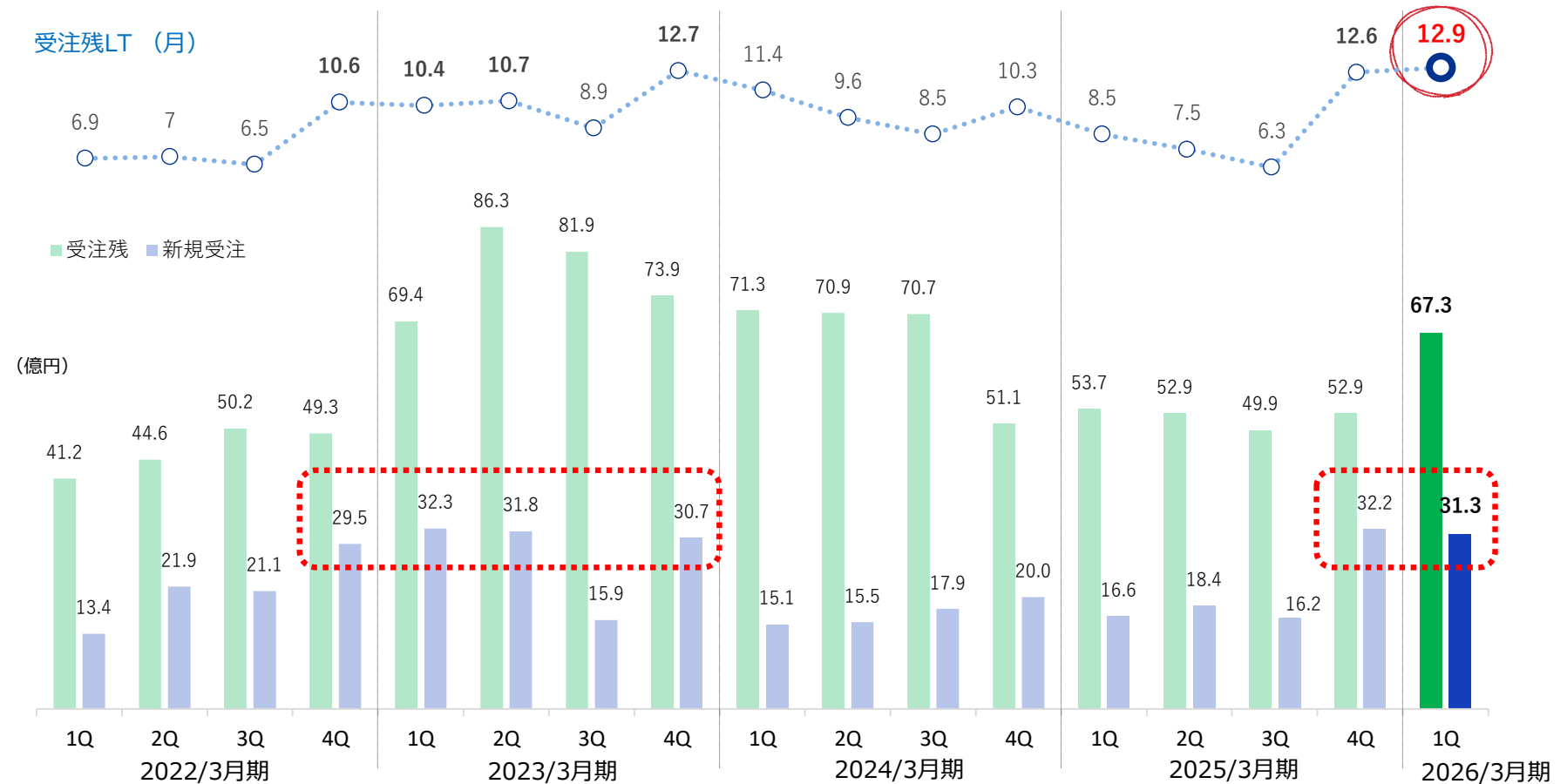
- 前年比で大幅減益の主因はコストの上昇。売上増加は増益要因として寄与したうえ、償却費も減少したものの、コスト上昇影響の吸収には至らず
- コスト上昇は生産準備段階における課題表面化を受け、生産計画調整による収益性への影響。さらに新規案件導入期による顧客との調整作業の増加、稼働差損などが原因。稼働差損は案件繰りの問題から稼働率にボラティリティが発生、2Q以降解消傾向となる見込み
- 業務委託費なども一過性のコストアップとして1Qに顕在化。これらは2Q以降、低減の見込み



受注状況

- 受注は好調。1Qの受注残及び新規受注は2023/3期以来の高水準
- 新規受注は、主に医薬分野の足の長い案件。それに伴い、受注残も医薬分野を中心に更なる積上げ
- 受注残存リードタイムは前4Q比でほぼ横ばい。足の長い案件のウエイトは高水準を維持しており、将来の成長性に対する見通しは上向いていると認識

新規受注、受注残及び受注残存リードタイムの推移



※1 顧客から提示されたフォーキャスト等は含まず

※2 受注残LTはその時点で今後の納期に至る平均残存期間で算出

- 総資産は前期末比で微減。債権債務の解消などが影響。1Q末で残る売掛金は9億円程度
- 棚卸資産は前4Q比で若干増加。製品在庫は減少も、2Q以降出荷予定の仕掛品が大きく増加
- 固定資産もほぼ横ばい。大規模設備投資あるも、まだ建設仮勘定の段階
- 1Q末時点の自己資本比率は69.2%。新棟建設で借入金の増加傾向は続くものの、財務安定性に変化なし

財政状態の推移

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期 1Q	前期末差異
流動資産	8,558	7,475	6,722	△752
現預金	3,311	2,385	2,854	+468
売上債権	2,626	2,407	870	△1,536
棚卸資産	2,518	2,541	2,853	+311
固定資産	10,063	12,676	12,640	△36
建設仮勘定	1,345	3,646	3,674	+27
繰延税金資産	1,151	1,191	1,183	△7
総資産	18,621	20,152	19,363	△789
負債	5,534	6,632	5,960	△672
有利子負債	1,970	3,119	2,899	△219
未払金/未払税	1,699	753	299	△453
長期前受収益	923	1,767	1,766	0
純資産	13,086	13,520	13,402	△117
負債純資産合計	18,621	20,152	19,363	△789

2. 2026年3月期 決算見通し

- 通期見通しは従来想定を据置き。26/3期1Qのスロースタートは一時的なコストアップ要因が原因であり、これらは徐々に解消の見通し。通常操業に回帰する下期からの挽回は十分可能と認識
- 前期との比較では増収減益を想定。増収効果はあるものの、コスト上昇が利益圧迫要因となる見通し
- 事業領域別には、機能材料分野・医薬分野で横ばい推移を想定。バイオは量産ステージ好調で前期を上回るペースを見込む

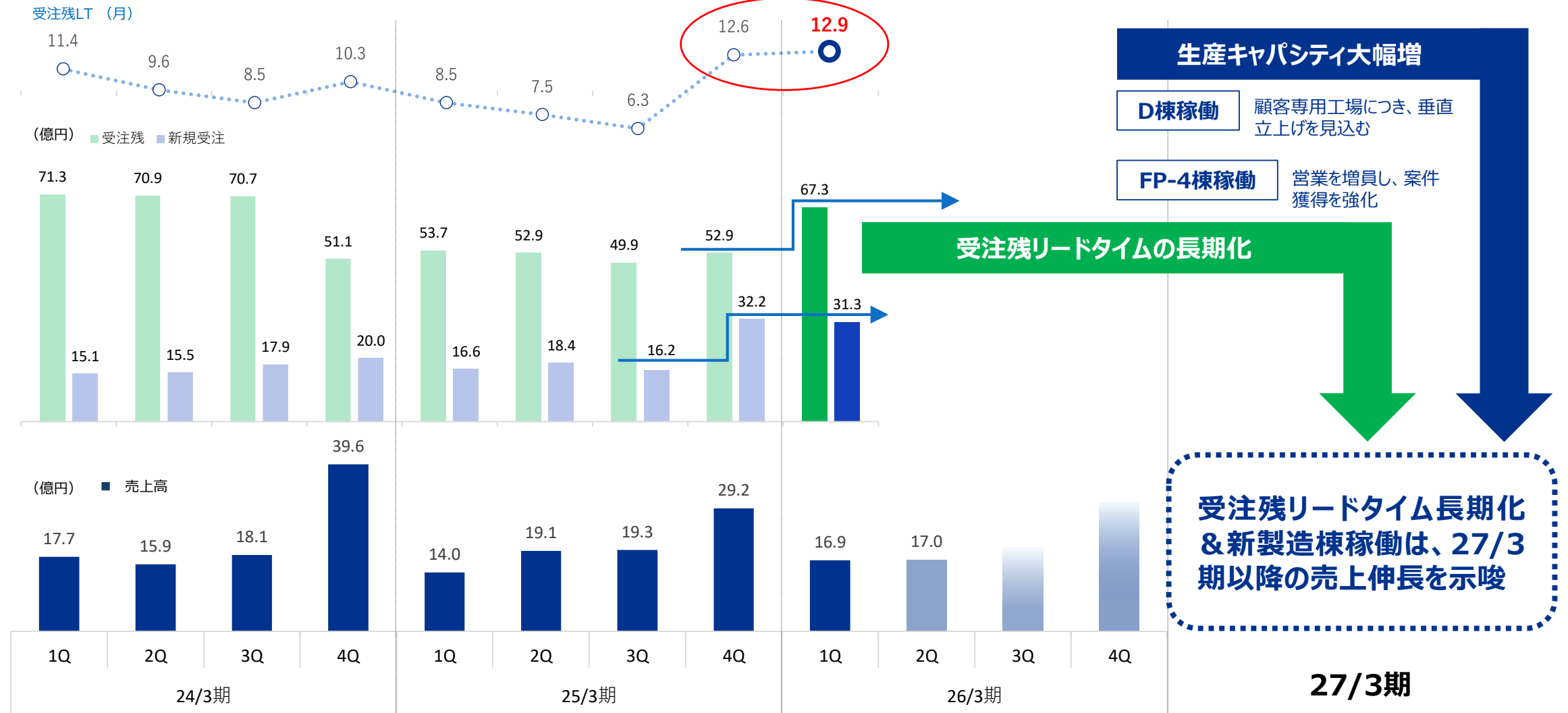
(百万円)	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 見通し	前年比較	
					差異	変化率
売上高	8,628	9,154	8,178	8,600	+421	+5.1%
機能材料	2,832	2,714	3,002	2,950	△52	△1.8%
医薬	4,259	4,609	3,508	3,700	+191	+5.4%
バイオ	1,536	1,829	1,667	1,950	+282	+17.0%
営業利益	2,163	2,081	771	780	+8	+1.1%
経常利益	2,199	2,094	929	800	△129	△13.9%
経常利益率	25.5%	22.9%	11.4%	9.3%	△2.1pp	
当期純利益	1,542	1,493	737	584	△153	△20.8%
調整後EBITDA	2,914	2,867	1,761	1,777	+16	+0.9%
調整後EBITDAマージン	33.8%	31.3%	21.5%	20.7%	△0.9pp	

* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 研究助成金 - 長期前受収益取崩し分

- 四半期別の見通しでは、2Q発生ベースで経常黒字回復を想定。1Qにあった特殊要因緩和に加え、バイオ分野の出荷加速を見込む
- 上期想定を前年と比較すると、売上利益ともにほぼ横ばい圏となる見通し。機能材料は上期に足の長い案件（リソース集中）に従事したため減収。一方、医薬は1Qの出荷集中もあって増収を想定。1Qのコストアップ影響も上期で捉えれば、定常状態に回帰
- なお、下期は上期比で大幅増収増益を予想。医薬・バイオは例年通り下期偏重となり、全社ベースで巻き返す想定

(百万円)	2025/3期			2026/3期見通し				
	上期	下期	通期	1 Q実績	2Q	上期	下期	通期
売上高	3,322	4,856	8,178	1,694	1,700	3,394	5,206	8,600
機能材料	1,568	1,434	3,002	755	560	1,315	1,635	2,950
医薬	1,099	2,409	3,508	730	640	1,370	2,330	3,700
バイオ	654	1,012	1,667	208	500	708	1,242	1,950
営業利益	76	695	771	△ 9	40	31	749	780
経常利益	86	843	929	△ 11	55	44	756	800
経常利益率	2.6%	17.4%	11.4%	△ 0.7%	3.2%	1.3%	14.5%	9.3%
当期純利益	54	682	737	△ 11	40	29	555	584

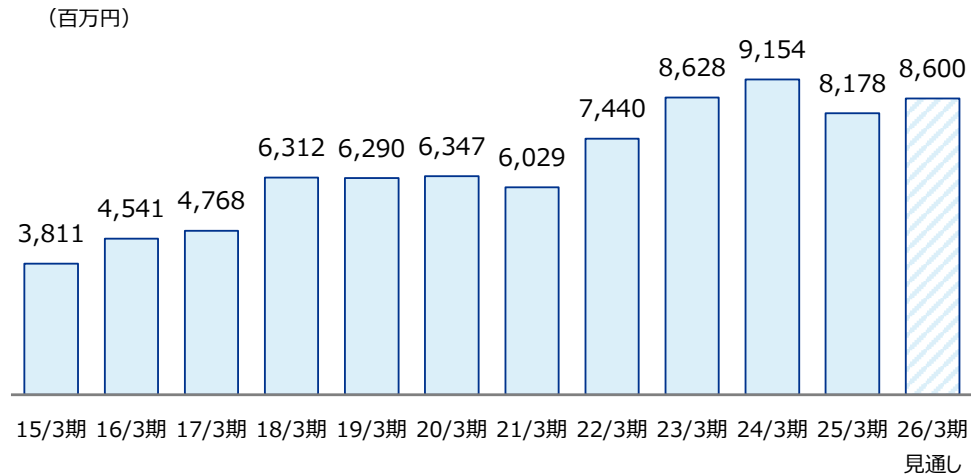
受注及び受注残リードタイムと売上計上タイミング



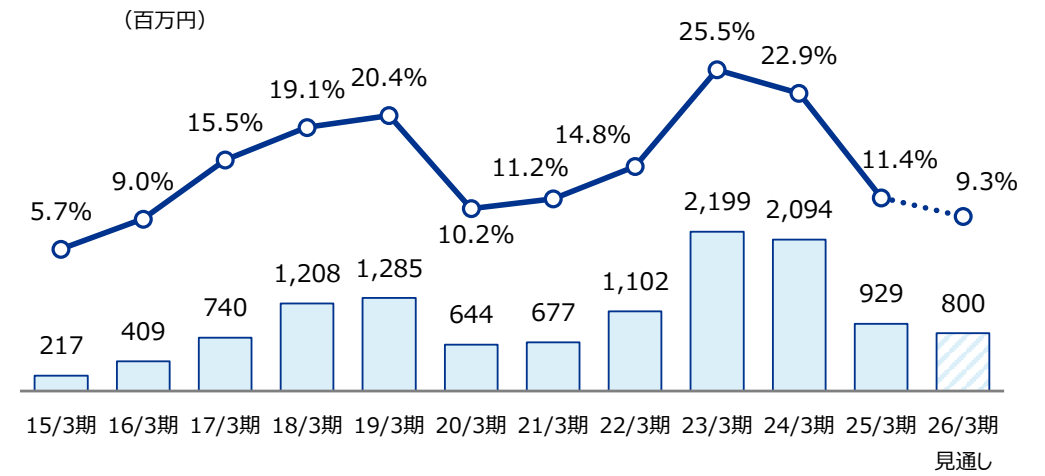
3. APPENDIX



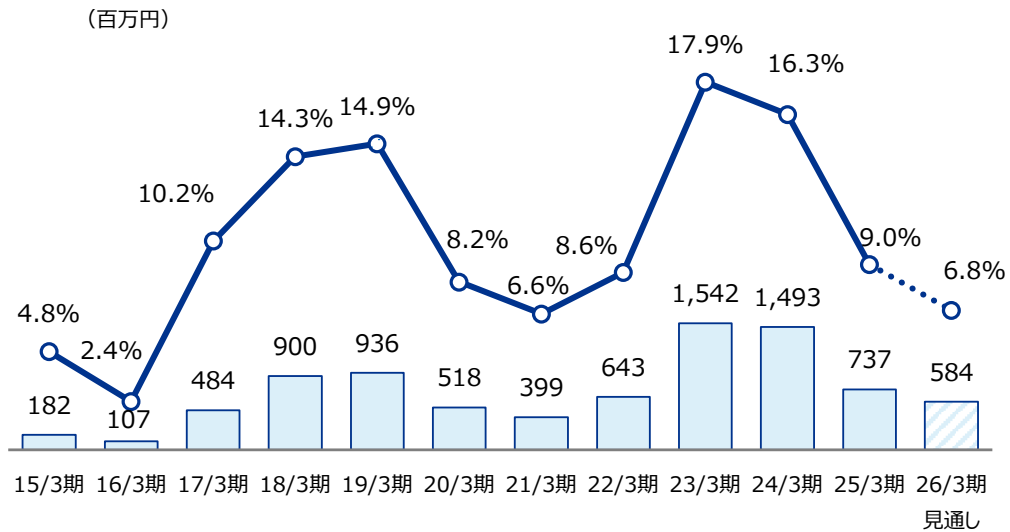
売上高



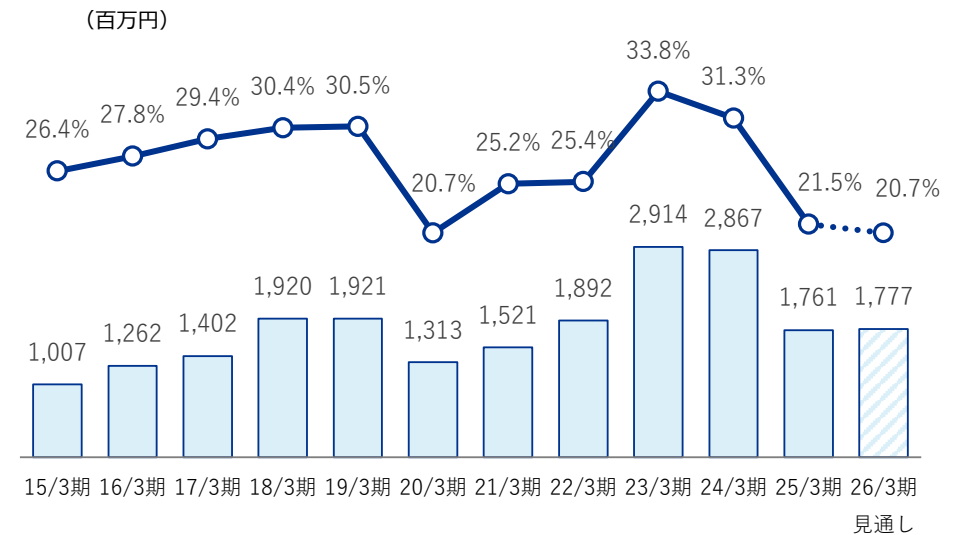
経常利益・経常利益率



当期純利益・当期純利益率



調整後EBITDA・調整後EBITDAマージン



*調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 研究助成金 - 長期前受収益取崩し分

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先 経営企画部 IR担当 078-955-9900（代表） knc-ir@kncweb.co.jp